

デジタル社会の基盤となる“光の道”

情報通信基盤の現状

島しょ県が抱える多様な課題を解決し、県民の利便性や産業競争力の向上を図る上では、デジタル社会の形成が重要となります。

場所や時間の制約からの解放等、デジタル社会の特性は、都市部から遠く離れ、広大な海域等に散在することによる高コスト構造など、離島や過疎地域における諸課題の克服において、その効果の発揮が期待されています。

一方で、その基礎となる情報通信基盤は、このような地域では、主に採算性の問題から、民間主導による整備が進まない実態もあります。

そのため県では、都市部と同等の情報通信環境の確保に向け、情報通信基盤の整備を民間通信事業者や関係機関と連携して取り組んできました。

進めてきた取り組み

これまで県では、内閣府沖縄振興特別推進交付金等を活用し、情報通信基盤の核となる沖縄本島と離島を結ぶ海底光ケーブル等の整備を進めてきました。

平成21年度から23年度には南大東島へ、平成25年度から28年度には久米島地区及び先島地区（宮古・八重山）への海底光ケーブルを敷設するとともに、各離島における光ファイバ網を整備するなどの事業を行いました。

また、令和元年度から3年度にかけては、沖縄本島と北大東島を結ぶ海底光ケーブル（約410km）の整備に取り組んでおり、今月には完成します。これにより、県内全ての自治体が海底光ケーブルで繋がることになり、デジタル社会の進展を支える基盤が構築されることとなります。

これからの取り組み

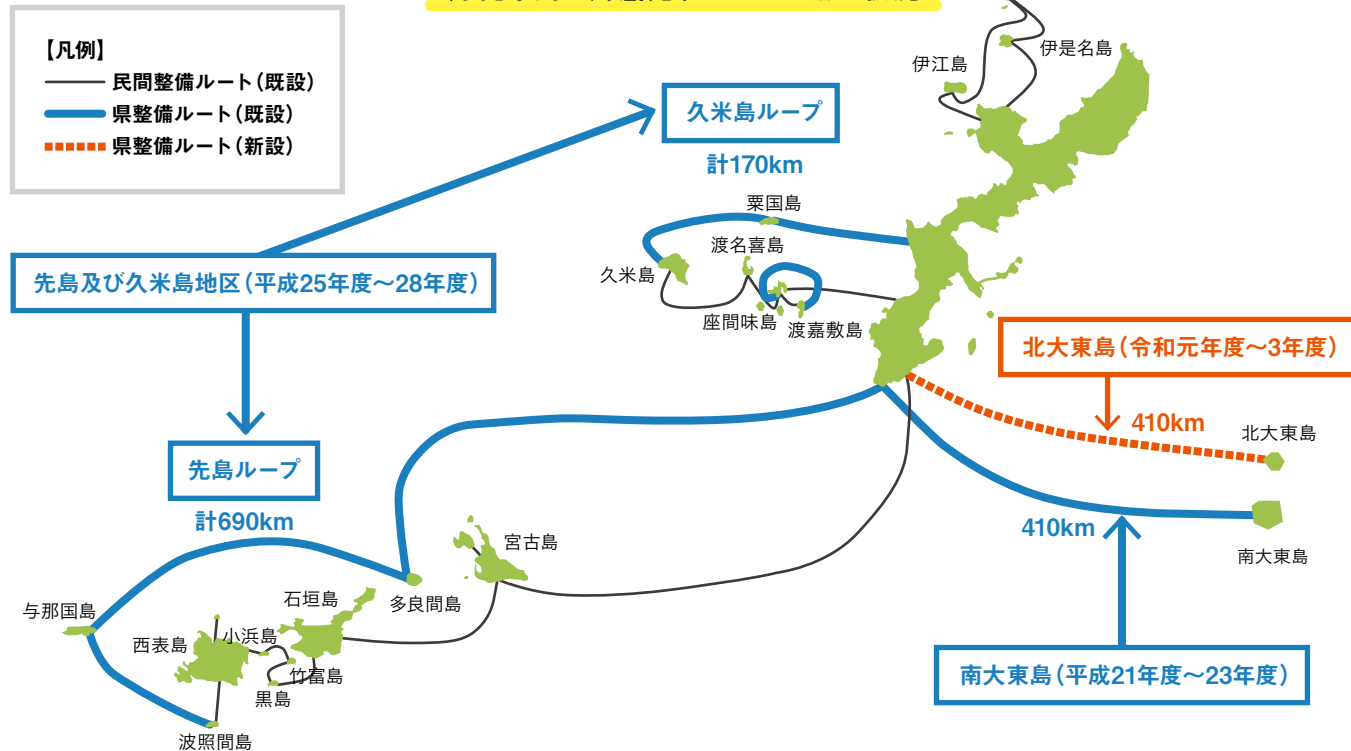
デジタル社会の実現に向けては、行政、教育、医療、防災などの様々な分野において、ICT（情報通信技術）の活用やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が必要となります。

県内の情報通信環境の整備は進んでいますが、引き続き、光ファイバ網の未整備地域の解消に取り組むことに加え、海洋島しょ圏の新たなインフラとして、5G（第5世代移动通信システム）をはじめとした次世代の通信環境の整備など、情報通信基盤の高度化や強靱化に取り組めます。



海底光ケーブルを敷設船から引揚げる作業（八重瀬町）

沖縄県内の海底光ケーブル整備の状況



問い合わせ

情報基盤整備課 電話：098-866-2036 FAX：098-867-2998



ワクチン接種にご協力を!



ワクチンについて
知ろう!